



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 岩崎電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6924 URL <https://www.iwasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 義剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営企画室長 (氏名) 池田 顕司 TEL 03-5846-9010
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 23,374 | 6.3 | 171 | △46.8 | 435 | 7.3 | △1,828 | - |
| 2022年3月期第2四半期 | 21,996 | △1.1 | 322 | 149.3 | 406 | 118.8 | 237 | 164.9 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △988百万円 (-%) 2022年3月期第2四半期 780百万円 (104.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | △248.88 | - |
| 2022年3月期第2四半期 | 31.65 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 62,010 | 31,499 | 50.8 | 4,281.19 |
| 2022年3月期 | 65,585 | 33,434 | 51.0 | 4,551.68 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 31,473百万円 2022年3月期 33,416百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | - | 0.00 | - | 130.00 | 130.00 |
| 2023年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2023年3月期(予想) | - | - | - | - | - |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 55,000 | 3.4 | 2,300 | △30.0 | 2,400 | △30.7 | △900 | - | △122.42 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期2Q | 7,821,950株 | 2022年3月期 | 7,821,950株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 470,317株 | 2022年3月期 | 480,436株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期2Q | 7,345,838株 | 2022年3月期2Q | 7,517,945株 |

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 3. 補足情報 | 10 |
| 地域別売上高 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の対策と経済活動の両立が進む一方で、米国ではインフレ抑制のための政策金利の引き上げによる景況感の悪化、欧州ではウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高騰が経済活動にマイナスの影響を与えています。中国では、ゼロコロナ政策による都市封鎖などにより経済活動が制限され、景気回復のペースは鈍化しました。わが国経済は、経済活動の段階的な再開により景気の持ち直しの動きが続いているものの、資源価格の高騰や、世界的な半導体不足の長期化、急激な円安の進行による物価の高騰などにより、景気の先行きに対する不透明感は一層強まりました。

このような環境の中、当社グループは「光技術と新たな技術の結合で、社会・産業インフラを支える先進企業を目指す」という経営ビジョンのもと、事業領域の拡大、社会への新たな価値提供の実現に向け、新規事業の取り組みと構造改革を推進するとともに、照明事業と光・環境事業において、独自性のある商品開発と周辺事業を含めたソリューションビジネスの展開を図り、商品提供にとどまらない、あらゆる付加価値提供に取り組んでいます。当第2四半期連結累計期間においては、市場のニーズを捉えた新商品の開発を行うとともに、展示会などのイベントの開催や商品説明会を実施するなど、お客様との接点を増やし、新商品の訴求を積極的に行っていました。

一方で、調達、製造においては、電子部品などの長納期化の影響で一部の製品で生産の遅延が生じ、また、材料の高騰や為替の影響を受けたことにより、利益面では厳しい状況となりました。

なお、米国においてHIDランプの発光管・外球の製造販売を中心に事業を行ってまいりました連結子会社において、HID光源の需要が減少していく中、事業の効率化策、合理化策を講じてまいりましたが、2021年以降、予想以上に急速に需要が縮小し、今後の事業継続が困難であるとの判断に至り、2022年10月14日開催の取締役会にて該社の清算を決定いたしました。それに伴い、当第2四半期連結累計期間において、棚卸資産評価損など2,015百万円の特別損失を計上いたしました。

これらの結果、売上高は23,374百万円（前年同期は21,996百万円で6.3%の増加）、営業利益は171百万円（前年同期は322百万円で46.8%の減少）、経常利益は435百万円（前年同期は406百万円で7.3%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,828百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益237百万円で2,066百万円の悪化）となりました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっています。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<照明>

照明事業は、多彩な光により周囲と調和した空間を実現する景観街路照明のフラッグシップとなる新商品のリリースや、眩しさや光漏れを抑えた環境に配慮した屋外スポーツ用照明器具を発売し、市場への訴求を推進しました。売上高は、国内では、LED道路灯、LED街路灯などは、スマート性を有した制御関連機器と併せて堅調に推移し、また、工場施設向けの特種環境用照明器具は、ラインアップの増強を図ってきたこともあり増加となりました。

これらの結果、売上高は16,967百万円（前年同期は15,297百万円で10.9%の増加）、セグメント利益は985百万円（前年同期は905百万円で8.9%の増加）となりました。

<光・環境>

光・環境事業は、UVキュア分野では、UV-LED装置の市場訴求を積極的に行い、印刷関連では前年より増加となりましたが、FPD関連は前年同期ほどの件名納入に至らず、売上高は横ばいで推移しました。また、環境試験装置分野においては、自動車産業関連などでの納入があり、売上高は増加となりました。一方で、殺菌関連分野では、感染対策需要の一服感もあり空気循環式紫外線清浄機の売上高は減少となり、情報機器分野では、前年同期ほどの件名納入に至らず、売上高は減少しました。

これらの結果、売上高は6,439百万円（前年同期は6,721百万円で4.2%の減少）、セグメント利益は136百万円（前年同期は273百万円で50.2%の減少）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当決算短信に記載されている2023年3月期の業績予想ならびに将来予測に関する記載内容につきましては、いずれも当社および当社グループ会社の事業に関連する業界動向の見通しをはじめ、国内及び諸外国の経済状況、ならびに各種通貨間の為替レートの変動、その他業績に変動を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としております。これらは、市況、競争状況、新商品・新サービスの導入およびその成否、ならびに照明関連産業市場、光・環境産業市場の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高および利益などは、当決算短信に記載されている予想数値と大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、2023年3月期における通期の業績予想を修正しております。詳細は、同日付にて別途開示しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,939 | 10,764 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 12,719 | 12,533 |
| 電子記録債権 | 1,986 | 1,847 |
| 商品及び製品 | 5,647 | 8,080 |
| 仕掛品 | 1,671 | 1,827 |
| 原材料及び貯蔵品 | 5,560 | 5,260 |
| その他 | 680 | 1,054 |
| 貸倒引当金 | △42 | △53 |
| 流動資産合計 | 45,162 | 41,315 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 8,941 | 8,889 |
| その他(純額) | 6,102 | 6,128 |
| 有形固定資産合計 | 15,043 | 15,018 |
| 無形固定資産 | | |
| | 332 | 270 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 5,060 | 5,420 |
| 貸倒引当金 | △14 | △13 |
| 投資その他の資産合計 | 5,045 | 5,406 |
| 固定資産合計 | 20,422 | 20,695 |
| 資産合計 | 65,585 | 62,010 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,002 | 6,102 |
| 電子記録債務 | 5,273 | 3,580 |
| 短期借入金 | 640 | 610 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 200 | — |
| 未払法人税等 | 804 | 437 |
| 賞与引当金 | 731 | 724 |
| クレーム処理引当金 | 62 | 53 |
| その他 | 1,830 | 2,604 |
| 流動負債合計 | 15,544 | 14,113 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,550 | 2,550 |
| 退職給付に係る負債 | 11,465 | 11,155 |
| 資産除去債務 | 136 | 136 |
| その他 | 2,454 | 2,555 |
| 固定負債合計 | 16,606 | 16,397 |
| 負債合計 | 32,151 | 30,510 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,640 | 8,640 |
| 資本剰余金 | 2,069 | 2,069 |
| 利益剰余金 | 20,498 | 17,741 |
| 自己株式 | △823 | △808 |
| 株主資本合計 | 30,384 | 27,643 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,623 | 1,503 |
| 土地再評価差額金 | 2,136 | 2,100 |
| 為替換算調整勘定 | △1 | 884 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △726 | △659 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,031 | 3,830 |
| 非支配株主持分 | 17 | 26 |
| 純資産合計 | 33,434 | 31,499 |
| 負債純資産合計 | 65,585 | 62,010 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 21,996 | 23,374 |
| 売上原価 | 14,736 | 15,974 |
| 売上総利益 | 7,259 | 7,400 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,936 | 7,228 |
| 営業利益 | 322 | 171 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 58 | 71 |
| 保険配当金 | 21 | 21 |
| 為替差益 | 4 | 178 |
| その他 | 66 | 46 |
| 営業外収益合計 | 151 | 318 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 36 | 28 |
| 持分法による投資損失 | 27 | 20 |
| その他 | 3 | 5 |
| 営業外費用合計 | 67 | 54 |
| 経常利益 | 406 | 435 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 25 |
| 投資有価証券売却益 | 5 | — |
| 特別利益合計 | 5 | 25 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 6 | 2 |
| 棚卸資産評価損 | — | 1,850 |
| 減損損失 | — | 145 |
| 保険解約損 | — | 20 |
| 特別損失合計 | 6 | 2,017 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 405 | △1,556 |
| 法人税等 | 168 | 265 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 237 | △1,822 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △0 | 5 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 237 | △1,828 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 237 | △1,822 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 77 | △119 |
| 為替換算調整勘定 | 293 | 794 |
| 退職給付に係る調整額 | 142 | 67 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 28 | 91 |
| その他の包括利益合計 | 543 | 834 |
| 四半期包括利益 | 780 | △988 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 781 | △993 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △0 | 5 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 405 | △1,556 |
| 減価償却費 | 578 | 514 |
| 棚卸資産評価損 | — | 1,850 |
| 減損損失 | — | 145 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △27 | △7 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △0 | 4 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △136 | △242 |
| 受取利息及び受取配当金 | △59 | △72 |
| 支払利息 | 36 | 28 |
| 為替差損益(△は益) | △4 | △30 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 27 | 20 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △5 | — |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 6 | △22 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 2,563 | 509 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △1,085 | △3,636 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △3,122 | △1,739 |
| その他 | △696 | 245 |
| 小計 | △1,519 | △3,991 |
| 利息及び配当金の受取額 | 59 | 72 |
| 利息の支払額 | △39 | △27 |
| 法人税等の支払額 | △472 | △702 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,972 | △4,649 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △259 | △493 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 84 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △24 | △36 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4 | △56 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 10 | — |
| その他 | △50 | △167 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △327 | △669 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △60 | △30 |
| 長期借入金の返済による支出 | △650 | △200 |
| 自己株式の取得による支出 | △292 | △0 |
| 配当金の支払額 | △306 | △964 |
| その他 | △36 | △20 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,345 | △1,215 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 117 | 309 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △3,527 | △6,224 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 18,503 | 16,939 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,975 | 10,715 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-------------------|---------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 照明 | 光・環境 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,287 | 6,709 | 21,996 | — | 21,996 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 9 | 12 | 21 | △21 | — |
| 計 | 15,297 | 6,721 | 22,018 | △21 | 21,996 |
| セグメント利益 | 905 | 273 | 1,178 | △855 | 322 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△855百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-------------------|---------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 照明 | 光・環境 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,946 | 6,427 | 23,374 | — | 23,374 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 20 | 11 | 32 | △32 | — |
| 計 | 16,967 | 6,439 | 23,406 | △32 | 23,374 |
| セグメント利益 | 985 | 136 | 1,121 | △949 | 171 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△949百万円は、報告セグメントに配分しない全社費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) (単位:百万円)

| 日本 | 北米 | アジア | その他 | 計 |
|--------|-------|-------|-----|--------|
| 18,456 | 1,837 | 1,529 | 171 | 21,996 |

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) (単位:百万円)

| 日本 | 北米 | アジア | その他 | 計 |
|--------|-------|-------|-----|--------|
| 20,282 | 1,840 | 1,096 | 155 | 23,374 |

以上